

野菜の需給・価格動向レポート(平成23年1月17日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	12月の価格動向		1月の価格動向		生育及び価格の1月の見通し			
	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の関東・近畿ブ ロック旬別平均販売価額	(参考) 保証基準額の 算定の基となる 平均価格	指定野菜の 関東・近畿ブ ロック旬別平 均価格				
	中旬	下旬	上旬					
葉 茎 菜	キャベツ	66.3	72	68	88.05	79	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：12,531t (100) 主産地：愛知 (57)、千葉 (23)、神奈川 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知産は、寒波の影響で玉伸びせず小玉傾向、出荷量は前年より少なめに推移する見込み。千葉産も寒さの影響で、出荷量が少なめの見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。
		69.92	78	73	79.74	80	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,400t (106) 主産地：愛知 (45)、大阪 (17)、兵庫 (9)、三重 (8)、和歌山 (6)、佐賀 (6) 	
	ねぎ (関東：白ねぎ。 関西：青ねぎ)	218.22	252	272	229.99	289	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：5,081t (98) 主産地：千葉 (33)、埼玉 (31)、茨城 (12)、群馬 (11)、輸入 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、病虫害の影響もなく順調な出荷量となり、少なかった前年より多めの出荷量になっている。埼玉産も生育が回復傾向にあるものの、夏場の影響を引きずり、前年より少なめの見込み。 ・出荷量が回復しつつあるが、平年並みの出荷量に届かないことから、価格はやや高めで推移する見込み。
		444.77	344	406	450.51	438	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込数量：220t (99) 主産地：徳島 (27)、大阪 (17)、高知 (15)、奈良 (13)、香川 (8)、群馬 (7) 	
	はくさい	36.65	45	44	64.34	46	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：13,293t (98) 主産地：茨城 (87)、群馬 (11) 	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城産は、出荷は安定しており、平年並みの出荷量となる見込み。群馬産は、9月下旬の定植時期が雨の影響で遅れたため小玉傾向かつ少なめの出荷量となっているが、下旬には出荷量が回復する見込み。 ・茨城産の総出荷量が平年並みと見込まれることから、価格は平年並みに推移する見込み。
		53.29	56	55	76.33	57	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,000t (100) 主産地：愛知 (26)、茨城 (23)、兵庫 (13)、福岡 (10)、熊本 (9)、宮崎 (7)、岡山 (6) 	
	ほうれんそう	333.43	329	376	307.66	462	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,730t (101) 主産地：群馬 (29)、埼玉 (23)、茨城 (21)、千葉 (19) 	<ul style="list-style-type: none"> ・群馬産・埼玉産ともに、順調な出荷だったが、寒波の影響で出荷量が減少傾向、下旬には少なめの出荷量となる見込み。 ・出荷量が減少することから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		399.77	374	363	341.25	424	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：550t (105) 主産地：徳島 (59)、福岡 (20)、群馬 (10) 	
果 菜	レタス	259.83	134	139	259.83	173	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：6,896t (102) 主産地：静岡 (36)、兵庫 (13)、香川 (12)、千葉 (7) 	<ul style="list-style-type: none"> ・静岡産は、生育が良好で順調な出荷となる見込み。兵庫産は、寒波の影響で小玉傾向ながら、前年並みの出荷となる見込み。香川産も寒波の影響で小玉傾向、前年よりやや少なめの出荷となる見込み。 ・寒波の影響で出荷量が減ると見込まれることから、価格は平年より低めで推移しているが上昇し、平年並みで推移する見込み。
		238.68	130	126	238.68	175	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,050t (105) 主産地：兵庫 (53)、徳島 (25)、香川 (9) 	
	たまねぎ	76.15	149	148	76.15	152	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：7,352t (90) 主産地：北海道 (85)、輸入 (15) 	<ul style="list-style-type: none"> ・北海道産は、小玉傾向かつ成品率が悪いことから、出荷量は平年を下回る見込み。 ・北海道産が不作であることから、価格は平年より高めに推移する見込み。
		76.15	148	146	76.15	145	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,100t (90) 主産地：北海道 (64)、兵庫 (22)、大阪 (6) 	
	きゅうり	370.98	294	435	370.98	333	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：5,435t (99) 主産地：宮崎 (34)、千葉 (22)、高知 (22)、茨城 (9)、埼玉 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、生育が順調で平年並みの出荷となる見込み。宮崎産・高知産は冷え込みの影響で、平年並みかやや少なめの出荷量となる見込み。 ・価格は、平年並みで推移する見込み。
		350.33	284	411	350.33	326	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,100t (101) 主産地：宮崎 (48)、徳島 (22)、高知 (19)、愛媛 (9) 	
	トマト	332.6	344	383	332.6	377	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：4,600t (100) 主産地：熊本 (42)、愛知 (14)、栃木 (11)、静岡 (6)、千葉 (6)、宮崎 (4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・熊本産は、低温や日照不足の影響で、着色が鈍く玉の肥大も進まず、前年より少なめの出荷量の見込み。愛知産は、ピークを過ぎ出荷量は微減傾向だが、前年並みの出荷量の見込み。 ・主力の熊本産の出荷量の伸び悩みから、価格はやや高めで推移する見込み。
		311.06	343	356	311.06	355	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：780t (105) 主産地：熊本 (55)、愛知 (12)、福岡 (12)、徳島 (7) 	
根 菜	なす	389.03	376	388	389.03	332	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,885t (99) 主産地：高知 (64)、福岡 (16)、佐賀 (6) 	<ul style="list-style-type: none"> ・高知産は、低温の影響から玉の肥大が進まず、2月上旬まではやや少なめの出荷が続く見込み。福岡産は、日照不足・低温により肥大が遅れている。 ・価格は、平年並みで推移する見込み。
		397.74	400	411	397.74	324	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：260t (100) 主産地：高知 (28)、熊本 (25)、福岡 (23)、岡山 (15)、徳島 (6) 	
	ピーマン	327.99	338	343	501.13	340	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：1,244t (99) 主産地：宮崎 (41)、高知 (23)、茨城 (20)、鹿児島 (13) 	<ul style="list-style-type: none"> ・宮崎産は、ピークを過ぎ少なめの出荷となっているが、下旬には出荷量が増加する見込み。高知産は低温の影響でやや少なめの出荷量となる見込み。茨城産は、低温により肥大が進まず、出荷量は平年より少なめの見込み。 ・今後、主力の宮崎産が順調な出荷になると見込まれることから、価格は平年並みで推移する見込み。
		336.77	353	334	467.19	304	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：290t (95) 主産地：宮崎 (67)、高知 (22)、鹿児島 (8) 	
根 菜	だいこん	64.33	50	47	83.19	52	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：12,279t (100) 主産地：神奈川 (55)、千葉 (40)、 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は、12月は潤沢な出荷量だったが、1月は寒波の影響によりやや減少傾向。神奈川産は、順調な生育になっている。 ・価格は、低めで推移する見込み。 <p>(※トピック欄参照)</p>
		76.48	51	48	84.7	47	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：3,300t (104) 主産地：長崎 (33)、徳島 (23)、和歌山 (18)、鹿児島 (13) 	
	にんじん	100.82	110	130	96.24	131	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：6,755t (90) 主産地：千葉 (83)、埼玉 (10)、茨城 (5)、輸入 (1) 	<ul style="list-style-type: none"> ・千葉産は夏場の少雨と10月の日照不足の影響で、前年より1割～2割減の出荷量の見込み。 ・出荷量が少なめと見込まれることから、価格は平年よりやや高めで推移する見込み。
		104.49	122	140	104.73	105	<ul style="list-style-type: none"> 入荷見込量：2,000t (100) 主産地：長崎 (41)、鹿児島 (22)、愛知 (15)、鳥取 (9)、千葉 (7) 	

種類	12月の価格動向			1月の価格動向			生育及び価格の1月の見通し
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格		指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均販売価額	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック旬別平均価格	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	
	中旬	下旬	上旬				
いも さといも ばれいしょ	200.88	294	314	217.95	309	・入荷見込量：730t (89) ・主産地：埼玉 (48)、千葉 (28)、輸入 (9)	・埼玉産は、夏の少雨の影響で小玉傾向、前年の出荷量を約2割下回る見込み。 千葉産も夏の少雨、10月の降雨の影響で、生育不良がみられ、前年の出荷量を下回る見込み。 ・価格はやや高めで推移する見込み。
	207.2	236	268	219.65	351	・入荷見込量：270t (100) ・主産地：愛媛 (40)、宮崎 (37)、福井 (6)、熊本 (6)	
	88.17	150	149	88.17	146	・入荷見込量：7,202t (96) ・主産地：北海道 (61)、長崎 (29)	・夏の高温の影響で小玉傾向、空洞果多く、玉つきも悪く、出荷量は少なかった前年を下回る見込み。 ・出荷量は前年を下回る見込みで、価格は引き続き平年より高めで推移する見込み。
	88.17	138	137	88.17	138	・入荷見込量：3,500t (94) ・主産地：北海道 (64)、長崎 (30)	

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価額の背景なしあは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック

1) 入荷見込量は関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。()内は前年対比。
2) 主産地は東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。()内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績。
3) コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したものである。

1) 平均価格は、過去9年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く)。
2) 旬別平均販売価額の背景なしあは保証基準額を上回るもの。背景ありは下回るもの(消費税は除く)。
3) 単位は円/k g、上段は関東、下段は近畿ブロック

2 野菜の需要動向

家計調査でみると、11月の1人当たりの生鮮野菜の購入量は、4,678gで対前年比88%、購入金額は、1,774円で同114%となり、購入量が対前年を下回っているが、引き続き購入金額は対前年を上回っている。

また、小売物価統計によると、12月のキャベツの小売価格は184円で過去5年平均比126%、レタスは354円で同78%となり、レタスは前年を下回っている。

1 生鮮野菜の購入量及び金額

(1人当たりの購入量、金額)

年	過去5か年平均		平成21年		平成22年	
	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	金額(円)	購入量(g)	前年比
1月	4,130	1,521	4,277	1,548	4,240	99
2月	4,325	1,548	4,536	1,529	4,461	98
3月	4,675	1,690	4,799	1,685	4,970	104
4月	4,758	1,783	4,783	1,805	4,518	94
5月	5,127	1,884	5,216	1,918	4,925	94
6月	5,042	1,856	5,180	1,888	5,026	97
7月	4,471	1,668	4,645	1,648	4,264	92
8月	4,330	1,703	4,321	1,752	4,241	98
9月	4,913	1,783	5,141	1,828	4,605	90
10月	5,382	1,807	5,691	1,767	4,994	88
11月	5,024	1,569	5,307	1,560	4,678	88
12月	5,185	1,797	5,213	1,751		

資料: 総務省「家計調査報告(二人以上世帯農林漁家世帯を除く)」

2 主要野菜の月別小売価格(東京都区部)の推移

(単位: 円/k g)

ヶ月	キャベツ		レタス		5カ年比(%)	
	過去5カ年平均	平成22年	5カ年比(%)	過去5カ年平均	平成22年	
1月	201	173	86	613	639	104
2月	188	199	106	500	530	106
3月	190	201	106	464	479	103
4月	231	343	148	435	596	137
5月	188	182	97	376	468	124
6月	151	168	112	339	377	111
7月	149	164	110	315	317	101
8月	159	169	106	449	536	119
9月	153	155	101	472	515	109
10月	146	192	132	419	668	160
11月	129	265	205	339	520	153
12月	146	184	126	456	354	78

注1: 過去5カ年は平成17~21年

注2: 12月の値は、12月中旬の速報値

資料: 総務省統計局「小売物価統計調査報告」

3 野菜の輸入動向

平成22年12月の輸入量を植物防疫統計でみると、たまねぎは対前年比21% (うち中国同17%、米国同36%) の4万5千トン、にんじんは同36% (うち中国同35%、オーストラリア同51%) の6千トン、ねぎは同181% (うち中国同200%) の5千トンとなり、前年より大きく増加している。

野菜等の輸入数量の推移について

(単位: トン、%)

区分	平成20年		平成21年		平成22年1月~11月	
	前年比	前年比	前年比	前年同期比	前年同期比	
生鮮野菜	602,733	84	615,271	102	720,850	130
加工野菜	1,660,663	93	1,569,627	95	1,528,708	107
野菜輸入量合計	2,263,395	90	2,184,898	97	2,249,558	113
うち中国産野菜合計	1,150,352	81	1,098,415	95	1,150,352	116
中国産シェア	51		50		51	

資料: ベジ探 (原資料) 財務省「貿易統計」

主な野菜の輸入動向

(単位: トン、%)

品目	輸入先(A)2009.12(B)2010.12(B)/(A)	
	合計	中国
たまねぎ	20,546	44,916
にんじん	1,649	5,971
ねぎ	2,966	5,380
	中国	2,694

資料: 農林水産省「植物防疫統計」(2010.12)は、12月末までの速報値である。

4 トピック

だいこんの需給動向について
12月中旬よりだいこんの価格が低迷している。
これは、夏場の高温・少雨で播種時期の遅れから出荷の出遅れがみられ、10月下旬~11月上旬には価格が高騰したが、その後は、9月以降の適温と天候の回復により順調な出荷となつたことに加え、生育ステージが後づれしたものとの出荷が重なったことから、潤沢な出荷量となっていることによる。
年明けからの寒波の影響により生育に多少鈍化がみられるものの、聴き取りによると大幅な需要の増加も期待できないことから、しばらくは過剰基準で推移するものと見込まれ、価格動向への注視が必要である。

だいこんの入荷量と価格の推移(東京都中央卸売市場)

だいこんの入荷量と価格の推移(9/上~1/上)

